

## 女子駅伝部 全国大会で激走！ 大健闘17位



2月17日(日)、滋賀県希望が丘文化公園において、第25回全国中学校駅伝大会が行われました。佐和田中学校女子駅伝部が14年ぶりに出場し、全国の大舞台上で、新潟県・佐渡の代表として、粘り強い走りを見せました。多くの皆様より応援いただき、ありがとうございました。

区間	氏名	記録(距離)区間順位	区間	氏名	記録(距離)区間順位
1区	佐々木寧菜	10分44秒(3km)20位	4区	後藤 菜那	7分13秒(2km)13位
2区	山中くるみ	7分2秒(2km)14位	5区	中野さやか	11分2秒(3km)22位
3区	大藏 美月	7分9秒(2km)6位	総合	43分10秒(12km)17位	

# 1秒の大切さ

校長 山本 博明

11月2日の県大会で優勝を果たし、全国中学校駅伝大会への出場を決めてから、多くの方より激励のお言葉やご支援をいただきました。誠にありがとうございました。

さて、「その1秒をけずりだせ」、この言葉は、絶対的なエースで「山の神」柏原竜二選手を擁した東洋大学が2011年の箱根駅伝で、わずか21秒差で2位になったとき、その悔しさをばねに生まれたスローガンです。東洋大学は、このスローガンの下、普段の練習から1秒を大事にし、チームのために1秒でもタイムを縮めようと全員で取り組み、翌年、見事優勝しました。

駅伝部の生徒たちは、朝練習を継続してきただけでなく、限られた練習時間を大切にしようと、終学活が終わると、全員が走ってグラウンドまで行きました。まさしく、1秒を大切にしていって毎日の練習に取り組んでいました。7月からの累計では、多い生徒で1,800kmを走り込んでいます。そして、全国大会では、参加49チーム中17位の大健闘でした。駅伝部の皆さん、大変お疲れ様でした。

これは、選手の努力はもちろんのこと、ご家族・地域の皆さまの支え、早朝から指導にあたった先生方の熱意があって実現した快挙です。最後になりましたが、この度の全国大会への出場に際し、ご寄付いただきました皆さまに、深く感謝申し上げます。



1区



2区



3区



4区

## 積み重ねることの意味

監督 大谷 信夫

この度、14年ぶり二度目の全国大会出場を果たし、17位という成績を収めることができました。出場に際し、多くの方々からのご厚志をいただきました。ありがとうございました。選手一人一人の心構えと長期間に渡る地道な練習の積み重ねが成し得た結果であると思います。保護者の皆様はじめ関係方々のご支援によるものと厚く感謝申し上げます。

駅伝という競技は、一人のエースがいても勝てるものではありません。なぜならチームの総合力を競う競技であるからです。精神的な部分が多くかかわり、チームの「心の絆」が大切なのです。これまでにメンバーは、勝った喜びや感動の体験、思うように走れず悩んだり泣いたりした体験があります。それを仲間と励まし合い、乗り越えることの大切さや意味を知り、自分自身を磨く努力をしてきました。一緒に練習をしてきた男子チームの存在も大きかったです。

長距離走は、辛い競技かもしれませんが、真摯な練習の積み重ねが結果に出てくる競技です。自分の限界に挑戦する選手がいてくれること、また、その取り組む姿をそばで見ることができる幸せに感謝の思いで一杯です。この後も、佐和田中学校の生徒が明確な目標をもち、達成に向け努力できる環境を作っていきたいと思っています。今後ともご指導並びにご支援をいただきますようお願い申し上げます。

## ありがとうございました

コーチ 木村 與志

佐和田中学校駅伝部・女子が全国大会に参加するにあたり、本当に多くの方にご支援をいただき感謝申し上げます。野崎 PTA 会長、渡辺同窓会会長をはじめ、全国に送る会の皆様や、その皆様にご協力いただいた全ての方のおかげで全国大会に向けての準備や、大会期間の有意義な活動をすることができました。ご支援がなければ決してこのような結果を残せなかったと思います。

私が駅伝指導をする中で大切にしているのは「心で走る」ということです。他競技に比べて技術的な部分は少ないのが駅伝や長距離です。そういった中では、どのような心で日々の練習に励むかが、より重要になります。また特設部ということで、どのように選手の体を気遣うか、各部活動とのバランスをどうとるかというような部分も大切になります。佐渡の中学生は自分の部活動と陸上や駅伝を掛け持つという大きな壁があります。しかし、それを壁とは思わず、両立と意識して、選手や顧問が努力することで、大きな目標を達成することができました。そして、私たち駅伝部の活動に多大なご理解とご協力をいただいたことを関係者の皆様に改めて感謝申し上げます。また今後とも「心で走る」特設駅伝部の活動のご支援をよろしくお願いいたします。



5区



オープンレース

# 全国大会に参加して

## ～生徒の感想～

### 3年 中野さやか

全国大会での目標は8位入賞でしたが、結果は17位でした。でも、この結果に悔いはありません。全員が今できる全力を尽くし、最後まで力を出し切ることができたと思います。私は5区を走り、皆がつないでくれたタスキを肩にかけ、タイムは満足ではなかったけれど、最後の最後まで腕を振り、強気で走りきることができました。私たちをここまで指導してくださった先生方、毎日支えてくださった保護者や地域の皆様、そして、たくさんの応援をくれた全校の皆さんには感謝の気持ちでいっぱいです。本当に、本当に今までありがとうございました。

### 3年 鈴木 彩音

この大会では、支えてくださっている方がたくさんいることを実感しました。去年果たせなかった県大会優勝を今年は果たせ、そして、滋賀県まで来ることができて本当によかったです。この大舞台に立てたのも、チーム全員で支えあってこられたこと、そして地域の皆さん、保護者の方、先生方のおかげだと思っています。ありがとうございました。駅伝というスポーツをやってこられて良かったです。1、2年生の皆さん、来年、再来年も頑張ってください。

### 3年 山中くるみ

私は2区を走りました。最初は周りのペースにのまれ、自分の走りができませんでした。しかし、徐々に自分のリズムを取り戻すことができ、最後まで強気で走りきることができたのでよかったです。

悔いは残っていないし、当日は体調不良で一人欠けてしまったけれど、チーム全員でここまで頑張ることができてよかったです。ここまで頑張ることができたのは、たくさんの方々の応援や支え、このチームがあったからこそだと思います。これまでたくさんの応援、本当にありがとうございました。

### 3年 後藤 菜那

全国大会では17位と、8位入賞という目標には届かなかったけれど、自分なりの精一杯の走りをすることができたので、悔いはないです。全国大会という大きな舞台へ来られたことを誇りに思います。ここまで来られたのは、チームのみんながいたからですし、先生方のご指導、そして、多くの方々の支え、応援があったからなので、とても感謝しています。1、2年生には、来年また今いるメンバー全員で目標に向かって頑張ってもらいたいです。今まで応援、本当にありがとうございました。

### 2年 佐々木寧菜

私は、全国大会で仲間と目標に向かって努力することはとても素晴らしいことだなと思いました。私たちは「全国8位入賞」を目標に今まで練習してきました。練習は大変でしたが、先輩方が私たち後輩を引っ張ってくれたおかげで誰一人欠けることなく、やり遂げることができました。結果は目標に届きませんでしたが、ここまで来られたのも支えてくださった先生方、保護者の方、地域の方、仲間、先輩方が私たちをまとめてくださったおかげです。仲間と全力で走りきれたとても大切な思い出の大会となりました。ありがとうございました。

### 2年 大藏 美月

「自分の力をすべて出し切る」これがこの大会での私の目標でした。北信越大会での反省を生かし、最初にオーバーペースにならないよう意識して走りました。8位入賞という私たちが目標としているところには届かず、涙のゴールになってしまいましたが、そんな中でもたくさんのごちそうをいただくことができた大会になりました。また「全国大会に出場した」ということを誇りに思い、これからの練習をまた頑張っていきたいです。素晴らしい応援、そして、3年生の先輩方、今まで本当にありがとうございました。先輩大好きです。

## 2年 井上 なお

私は、全国大会に参加して学んだことがたくさんありました。まずは、1秒の大切さです。全国大会では1秒差で順位が大きく変わってきます。もう一つは、最後まであきらめないことの大切さです。

私はこの全国大会でオープンレースに出場しました。途中の苦しくなったときに、今までやってきた練習や仲間のことを思い出し、もう一度頑張ろうと思うことができました。そして、会場まで来てくれた方々の応援もあり、最後まであきらめずに走りきることができました。今まで応援ありがとうございました。

## 1年 近藤可莉枝

私は全国大会という大きな舞台に行くことができ、学んだことがたくさんありました。全国大会は速いチームがたくさんいました。その中でも堂々と自分の走りをしている先輩たちを見て、私も先輩たちのような走りがしたいと思いました。そのためには、努力することを大切に、これからの練習に励んでいきたいです。そして、来年も全国大会出場を目標にして頑張っていきたいです。

また、今まで励ましてくださり、そして、全国大会という大きな舞台を見せてくださった先輩たちに感謝の気持ちをもって、頑張っていきたいと思います。

## 1年 隅田珠依莉

私は全国大会のオープンレースに出場することができました。オープンレースが始まる前に、駅伝があり、先輩たちを応援することができました。みんなの気持ちが一つになり、私も頑張ろうという思いが一段と強くなりました。そしてオープンレースがスタートし、力強くリズムよく自分のペースをくずさずに堂々と強気で走りきることができました。そして、ラストスパートも全力でかけることができ、とても気持ちよく走りきることができました。あこがれの先輩たちと熱心に指導してくれた先生方、共に頑張った仲間、家族、たくさんの方々に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

## 1年 近藤 結希

私は、この全国大会で選手のサポートをしました。レースに出られず、初めはとても悔しかったですが、先輩に声をかけてもらい、サポートを一生懸命できたと思います。また、サポートすると同時に選手のアップから声を出し、自分たちの雰囲気を作る姿や、レースで少しでも速く仲間にタスキを届けようとする姿などから、様々なことを学ぶことができました。たくさんの方を学ばせてくれた選手に感謝し、私もお手本になれるように頑張りたいです。来年も再来年も全国大会に出場し、今年叶えられなかった入賞をしたいと思います。



全校生徒・職員からのメッセージ・千羽鶴



行ってまいりました



オープンレース



オープンレース



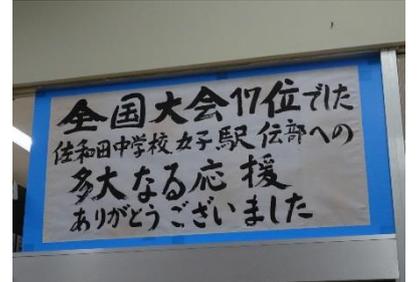
新潟県中体連激励会



応援ありがとうございました



応援ありがとうございました



応援ありがとうございました